

喜多アカデミー



公開講座

第二期

喜多流の魔拂  
乾

喜多流の伝書を読む

『音曲悪魔拂』をテキストに

講師

高林 白牛口二

たかばやし

こうじ

(能楽シテ方喜多流)

中止になりました

2020年 6月23日(木) 9月24日(木) 12月17日(木)

2021年 3月25日(木) 全4回・各回とも14:00～15:30

日時

会場

喜多能楽堂

チケット

各回 2,000円 (全席自由/税込)

お問合せ

喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813 FAX. 03-3491-8999 喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団





喜多能楽堂では昨年度より人材養成事業の一環として、日々稽古に励んでいる若手喜多流を一同に集めた集中研修「喜多アカデミー」をスタートいたしました。このアカデミーでは実技研修のみならず喜多流に代々引き継がれてきた「伝書」を読む講座をカリキュラムに加えました。講座は一般にも公開したところ、おかげさまで好評をいただき、本年度も継続のはこびとなりました。

昨年度に引き続き、喜多流能楽師の高林白牛口二師を講師に迎え、喜多流九世宗家古能健忘齋が天明七年に著した「音曲悪魔拂」を講師自らがこの講座のために翻刻したテキストを使い、若手能楽師と共に実演者の立場から読み込んでいきます。本来は秘伝としてなかなか目にすることのできなかった伝書を能楽師と共に読んでいくという他に類を見ない講座です。

愛好者の皆さまにも関心をもっていただける企画かと存じます。ご参加をお待ちしております。

#### ◆ 講師：高林白牛口二（たかばやし こうじ）

能楽シテ方喜多流。1935年高林吟二の次男として京都市に生まれる。本名高林皓二。父吟二に師事。38年「飛鳥川」子方で初舞台。40年十四世喜多六平太がシテの「隅田川」で子方を勤める。47年『猩々』で初シテ。その後、57年『猩々乱』同年『翁』68年『望月』69年『道成寺』98年『卒都婆小町』2002年『石橋』09年『鸚鵡小町』12年『伯母捨』を披く。京都を拠点に、古風な芸風を伝える京都の喜多流継承に長く尽力している。能のシテよりは2016年4月『江口』を最後に引退。同年より『高林白牛口二の謡を聴く会』を開催。98年大阪府知事表彰、00年重要無形文化財総合認定。2019年第二十八回「催花賞」受賞。シテ方の受賞は初めてである。

#### ◆ 講師メッセージ



「悪魔拂」が書かれた天明年間は今から約二百数十年前になります。この伝書を私より六十歳程若い者に解説すると云う運命に感慨深い想いを覚えます。その内容は私の八十余年の舞台経験と重ね合わせると全く同感と感じられ、師匠より引き継いだ技術を踏まえてこの伝書を読み解くと私には全てが明白に理解出来ます。引き続きこの講座にて私が論じる事は私の重要な使命であると思っています。

高林白牛口二

#### ◆ ご案内

昨年度から継続の講座ですが、今年度からのご参加も歓迎いたします。

なおご希望の方には終了講座分のテキストも会場にてお頒けいたします。(1,000円/1回分)

#### ◆ お申込み（※資料を用意しますので、事前のチケット予約購入をお願いいたします。）

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com>（要事前登録・登録料無料）

Tel: 03-3491-8813（10:00～18:00 休館日あり）

※ご予約のチケットをコンビニでお受け取りの場合は別途発券手数料がかかります。

#### ◆ 会場 喜多能楽堂 〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。

目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。